

## 編集後記

2021 年 4 月号をお届けいたします。特集は以下で触れるとしまして、綜説、機器紹介、臨床論文と、充実した一冊です。

読者の皆様はどのような新年度をお迎えでしょうか？ 新型コロナウイルスに世界中が振り回された昨年度でした。筆者の場合、大学教員として、所属教室員の教育に不満足な面の大きかった昨年度でした。国内および国際学会の中止、延期が相次ぎました。WEB 会議ではどうしても自分の興味対象から外れたセッションの聴講が疎かになりがちのように感じます。また、従来の学会開催地での会食の場は、学問論議や研究進捗に関する話題の場として、若手育成の大切な時間でした。そのような状況下で、紙ベースの出版物の意義は大きいと思っています。

今月は「緑内障の眼底」が特集されています。OCT 検査の発達により、緑内障患者さんの神経線維

層欠損や乳頭形状の評価がきめ細やかになり、診断と病状評価の質が格段に向上しました。さらに、これまではエキスパートレベルであった上方視神経部分低形成に代表される高度な鑑別診断もだんだんと一般診療レベルになってきています。ということは、20 年前、10 年前はエキスパートの熟練の技であった高難度の診断が広く要求されるということで、誤診や診断漏れが社会的に許容されない時代に突入したと言えるかもしれません。筆者も数年前、視野障害を伴う上方視神経部分低形成の確定診断を初診当日につけられなかったことがありました。

読者の皆様におかれましては、この機会に是非、これまでの診療を振り返りつつ、今一度、本特集をご一読いただきまして、緑内障エキスパートの技に触れていただきましたらありがたく思います。

(雑賀司珠也・記)

編集：富田剛司・後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均・根岸一乃  
編集顧問：所 敬・小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・三村 治・飯島裕幸・坪田一男

### 「眼 科」 第 63 巻 第 4 号 4 月号

2021 年 4 月 5 日発行（毎月 1 回 5 日発行）

定価 3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%）

#### 年間講読料金

定価 46,310 円（本体 42,100 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03 (3811) 7165 [編集室直通]

Tel 03 (3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。